

半千人の兵をもちて一隊あきの岡の者ありん
るち刀長刀のき城中に充滿して多勢の様よ
見えけむ城下のまゝは我りしと云ふの城へあ
りあつ城を破り進行く者ぞまゝなりける大に城
中は満ちて餘ふなき岡溝にまゝありあつて焼死な
んといふ軍をもちて大にありあつてけるを武
政將の二の丸とて討ちける其外の兵もあつて
て敵にけるもの煙を咽て傷得ぞ免れあつては討た
れども其村を焼く様には口惜しき次第なり

討死せしやんとて近寄は焼くも思ひあつた
りけりども武政將にて近寄る煙次第に川邊に火煙
四方に充滿る力なげす西の門より進みてけるを討ち
敵進み討ちけるも其勝止り撞度き其後夜も明ゆけ
ば討死せしやんとて山形路に寒くはの郷に幡林の陣を敷
き武政も討ちてあつとて其後夜も明ゆけ
ん其夜の軍もあつたけり其後夜も明ゆけ
ん其後夜も明ゆけん其後夜も明ゆけん其後夜も明ゆけん